



お陰様で立川市民オペラ公演 2014 歌劇『アイダ』が無事終了しました。

ライトが消され、前奏曲が静かに流れ始める、その瞬間から客席はアイダの世界へと導かれていく・・・。オペラの中のオペラと言われるヴェルディの代表作 歌劇「アイダ」は皆様の心を魅了する事が出来たのでしょうか。リニューアルされた立川市市民会館の大ホールは15日(土)・16日(日) 両日共にほぼ満席となり、ブラボー、ブラボーの掛け声も飛び交い、柿落しにふさわしく幕を閉じる事が出来ました。サポーター会員の皆様にはチケット販売をはじめ、ポスターや、チラシの設置、当日の会場係り等、様々な形でご協力いただき感謝申し上げます。



オペラ合唱団より

「アイダ」公演の1ヶ月前・2月14日に関東甲信越は大雪に見舞われました。山梨県在住の私は、立川の稽古にも行けず、長引く交通マヒで物資がなくなり孤立していました。しかし、公演当日は天候に恵まれ、多くのお客様にお越しいただけて幸いでした。アイダは合唱曲の迫力があり、圧倒的な音量で歌うことが出来ます。繊細な面での反省はあるものの、合唱で会場が響き、これぞ混声という快感を味わいました。今回は合唱をサポートしてくれている澤崎、青沼さんが、使者、巫女長として立派なソロで活躍、特に澤崎さんは大学1年生の時から合唱を手伝ってくれているので、感慨深さもひとしおでした。

次回の「愛の妙薬」は、当合唱団にとって初めての喜劇的イタリア・オペラなので皆楽しみにしています。

明るい村の人たちを、歌って演じたいと思います。

予告

立川市民オペラ公演 2015  
ドニゼッティ作曲  
歌劇『愛の妙薬』  
公演は H27年3月予定  
ぜひお楽しみに

立川管弦楽団より

ホールはリニューアルされましたが、もとのままだったオケピットで演奏しました。舞台を見られないのが残念です。

立川管弦楽団の次回の定期演奏会は7月13日(日) たましん RISURU ホールで、曲目は「チャイコフスキーの交響曲第1番、リストのプレリュード、ビゼーのアルルの女」を予定しています。ご期待ください。

立川オペラ愛好会より

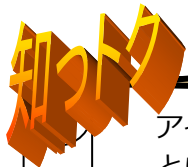
第4回立川オペラ愛好会ガラコンサート《名歌手たちの夢の饗宴》が、6月15日(日)午後2時から、たましん RISURU ホール(立川市市民会館)・大ホールで開催されます。

出演者は、皆さまお馴染みの砂川涼子、清水華澄、村上敏明、牧野正人、森口賢二さんに加えて、安藤赴美子、樋口達哉、青山貴、そしてピアニストの河原忠之さんです。二期会と藤原歌劇団のトップスターの競演で、オペラの醍醐味を満喫していただけます。プログラムはヴェルディ・プッチーニ等の多彩なアリアを独唱・2重唱・3重唱で、8人の歌手たちが熱唱を繰り広げます。

チケットは財団(☎042-526-1311)で好評発売中です。

よいお席をどうぞお早めにお求めください。

～立川をオペラの町に～  
第4回 立川オペラ愛好会 ガラコンサート  
名歌手たちの夢の饗宴  
二期会・藤原歌劇団のトップスターたちと共演し、オペラの名曲をお送りする豪華なステージ！  
出演者: 砂川涼子、清水華澄、村上敏明、牧野正人、森口賢二、安藤赴美子、樋口達哉、青山貴、河原忠之  
2014年6月15日(日)  
午後2時開演 1時30分開場  
たましん RISURUホール 大ホール(立川市市民会館)  
SS席 5,000円 S席 3,500円 A席 2,500円 B席 2,000円(全席指定)  
チケット発売日: 5月15日 申込先: 立川オペラ愛好会事務局 042-526-1311



連載「知っている面白くなる」

アイダ本公演いかがだったでしょうか。筆者はといいますと、舞台の下(オーケストラピット)におりました。比較的自由に振る舞え、演奏者同士でコンタクトの取れる舞台での演奏に比べ、ピット内が暗く狭いのはご承知の通りです。しかしそれ以上に問題なのは、他奏者や歌手の聞こえ方が同じ舞台面にいる時とはまったく異なることです。実際舞台面のソリストは見えませんが、同じピット内なのに、場所によっては奏者同士の存

在すら確認できません。筆者だけかもしれませんが、ピット内のオケ奏者は困難を共有する同志という感覚を持ってしまいます。それでも人の耳とは不思議なもので、ピットに入った時は自分の音しか聞こえなかったのが、次第に舞台面の歌手手や他の奏者の音を聞き取れるようになったのには少し驚きました。そして困難を克服し、公演の成功に繋がったのです?

(困難は克服されたのか???)

H・S